

(仮称) 袋井西コミュニティセンター建築基本・実施設計プロポーザル
審査結果報告書

袋井市は、(仮称) 袋井西コミュニティセンターの建築基本設計・実施設計業務受託者選定にあたり、(仮称) 袋井西コミュニティセンター建築基本・実施設計プロポーザル選定委員会を設置し、公募型プロポーザル方式により技術提案書の提出を求め、審査を行った。その結果、次のとおり最優秀者（設計候補者）、次点者を特定したので報告する。

1 審査結果

最優秀者（設計候補者） 株式会社 竹下一級建築士事務所（浜松市中区田町 230-17）
次点者 株式会社 大瀧建築事務所（静岡市駿河区馬淵 4-1-79）

2 審査結果の概要

(1) 第1次審査

県内 12 者からプロポーザルの提案があり、第1次審査で上位 5 者を選定した。

(2) 第2次審査

(点)

審査結果		次点者	非特定	非特定	最優秀者	非特定
審査番号		B	E	H	J	L
取組意欲 (140点)	提案書の 実行性・実 現性	1 2 4	1 2 0	1 0 4	1 2 4	9 2
課題に対 する提案 (420点)	課題 1 (175点)	1 4 6. 6	1 3 8. 4	1 2 7. 6	1 5 0. 6	1 1 7. 2
	課題 2 (140点)	1 2 2. 2	1 0 6. 8	9 9. 8	1 3 0. 4	8 9. 2
	課題 3 (105点)	8 7. 6	8 3. 4	8 1	9 5	6 5. 4
担当者の 能力、資 質 (140点)	プレゼン テーショ ンカ、質 問に対 する回 答能力	1 1 6	1 1 2	9 6	1 3 2	9 2
合計(700点)		5 9 6. 4	5 6 0. 6	5 0 8. 4	6 3 2. 0	4 5 5. 8

3 審査経緯

(1) 選定委員会の審査経過

ア 第1回選定委員会（平成30年4月12日）

公募型プロポーザルの応募要項、審査評価基準等の審議を行った。

イ 第2回選定委員会（平成30年6月1日）

12者からプロポーザルの提出があり、第1次審査を行い、プロポーザル全体を通して意見交換を行った後、審査評価基準に基づき、各委員が個別審査を実施した。

個別審査による採点を暫定集計し、その結果を踏まえて各委員がプロポーザルに対する意見を述べ、第2次審査のヒアリング参加要請者として、合計点数の高い5者を選定した。

ウ 第3回選定委員会（平成30年6月22日）

第2次審査を行い、提案者から説明20分、委員との質疑応答20分の計40分間でプレゼンテーション及びヒアリングを実施した。

ヒアリング後、提出されたプロポーザルの内容及びヒアリングによる総合評価により審査を行い、各委員が最終的な評価を行った。その結果、合計点数の最も高い者を最優秀者、2番目に高い者を次点者と決定した。

なお、第1次審査、第2次審査ともに参加者名は全て匿名にて審査を行った。

(2) 選定委員会委員名簿

委員長	鈴木 茂	袋井市 副市長
委員	内田 正春	(一財) 静岡県建築住宅まちづくりセンター 副理事長
委員	佐藤 健司	静岡理工科大学 理工学部建築学科教授
委員	豊田 浩子	丸尾興商株式会社 専務取締役 経理部長
委員	寺田 友里	袋井市袋井西コミュニティセンター職員
委員	荻原 成夫	袋井市 総務部長
委員	西尾 秀樹	袋井市 総務部 専門官

4 審査講評

(仮称) 袋井西コミュニティセンターは、袋井西地区の地域住民の活動拠点となるコミュニティセンターとして、コスト低減を図りながらも質の高い設計が求められている。

このため、設計委託料のみによって、設計者を選定するのではなく、設計者の創造性、技術力、経験等を適正に審査の上、最も適した設計者を選定する必要があるため、本プロポーザルを実施した。

プロポーザルにあたり、「建設費及びライフサイクルコスト低減に対する提案」「袋井西地区らしい交流と賑わいを創出する拠点施設の提案」及び「基本構想・基本計画を参考とした上で、より効率的・効果的な使いやすい施設の提案」の3課題を技術提案として設定し、各者からの提案を求めたところ、県内に事務所がある12者から参加表明書の提出があり、参加表明書の提出があった12者全てからプロポーザルの提出があった。

各者から提案のあった3つの課題に対する技術提案、業務実績、技術者の経験等の項目について、第1次審査及び第2次審査を行い、総合的に審査した結果、合計点数が最も高かった株式会社竹下一級建築士事務所を最優秀者、株式会社大瀧建築事務所を次点者とした。

(仮称)袋井西コミュニティセンター基本構想・基本計画のコンセプトを踏まえた施設機能・配置の提案、課題に対する提案及び独自の提案について、各者からは、特徴的かつ具体的な提案がなされた。

最優秀者の選定にあたり、提案内容が地域コミュニティの拠点としての機能性と経済性について特に配慮されている提案であるとともに、創造力、技術力及び豊富な経験を持つと判断される設計者を選定することとした。

最優秀者は、各評価項目全てにおいて、高い水準の提案があり、技術提案課題3、担当者の能力及び資質については、特に他者よりも優れた評価であった。

また、次点者は最優秀者には及ばなかったものの、高い水準の提案であり、特に技術提案課題の2については、数多くの具体的な提案が明確に述べられ、優れているとの評価があった。

最後に、本プロポーザルに関し各提案者の皆様には限られた時間の中、多大なる労力をお掛けし、貴重な提案をいただき心からお礼を申し上げます。

平成30年6月28日

(仮称)袋井西コミュニティセンター建築基本・実施設計
プロポーザル選定委員会

委員長 鈴木 茂